

【西宮市水道事業評価シート(基本理念)】

作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 基本目標 施策

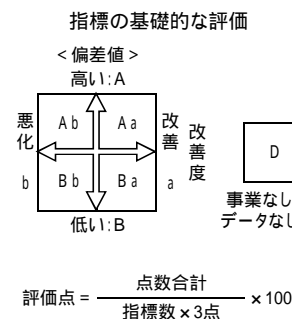
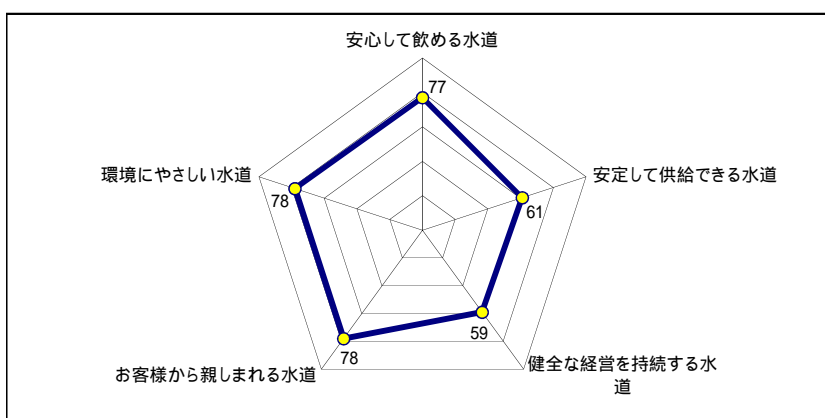
基本情報

基本理念	力強くしなやかな水道
概要	「未来につながる水のネットワーク」の構築を見据え、施設の統廃合を含む効率的な整備・更新を行い、災害にも強く、お客様にも信頼され、安心して水道水を飲んでいただける体制を確立することとします。 そのために、これまで培ってきた水道技術を維持・発展させ、効率的で効果的な施策を推進し、お客様のニーズや社会環境の変化に即応して、柔軟に施策を見直していきます。

評価結果

基本目標	施策数	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布					評価点	
			Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)		点数合計
1 安心して飲める水道	3	13	6	0	5	2	0	30	77
2 安定して供給できる水道	3	28	8	2	6	11	1	51	61
3 健全な経営を持続する水道	6	33	5	7	8	13	0	58	59
4 お客様から親しまれる水道	2	9	5	0	2	2	0	21	78
5 環境にやさしい水道	4	9	6	0	0	3	0	21	78
計	18	92	30	9	21	31	1	181	66

複数の施策に関連する5指標を重複してカウントしています。



評価結果の分析

基本目標	内容
1 安心して飲める水道	評価点は高めとなっています。水源から蛇口まで良好な水質を確保するための施策が実施されています。
2 安定して供給できる水道	評価点は低めとなっています。老朽化した水道施設の更新や耐震化はあまり進んでいるとは言えない状況ですが、浄水場の統廃合など効率的な水道施設の整備や危機管理体制の整備は着実に進んでいます。
3 健全な経営を持続する水道	評価点は低めとなっています。給水収益の増加が見込めない中、阪神水道企業団からの受水増量に伴う受水費の増加など多くの費用が必要となっており、財務面で収益性は低くなっています。なお、職員数の削減に伴い、職員一人当たりの生産性・効率性は改善傾向にあります。
4 お客様から親しまれる水道	評価点は高くなっています。広報・広聴活動を通じた情報提供及び情報収集により、ニーズに対応したお客様サービスを引き続き提供できていると言えます。
5 環境にやさしい水道	評価点は高くなっています。エネルギーや資源の効率的な利用が進んでいると言えます。

今後の課題等

基本目標	内容
1 安心して飲める水道	安全でおいしい水道水を供給するため、水源から蛇口までの各段階での良好な水質の確保にさらに努めていく必要があります。
2 安定して供給できる水道	施設の効率化や更新を図り、耐震化等を含め災害に強い水道施設を整備していく必要があります。
3 健全な経営を持続する水道	さらなる経費の削減や業務の効率化を進めるとともに、水道技術の継承を含めた組織体制の見直しを図り、健全な経営を継続できるよう努めていく必要があります。
4 お客様から親しまれる水道	効率的・効果的な広報・広聴活動を実施するとともに、変化するお客様ニーズに柔軟に対応したサービスを引き続き提供していく必要があります。
5 環境にやさしい水道	太陽光発電の導入など再生可能エネルギーの利用等に向けた施策を進めていく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(基本目標1)】

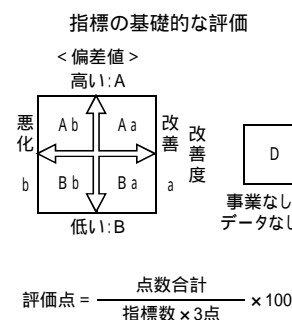
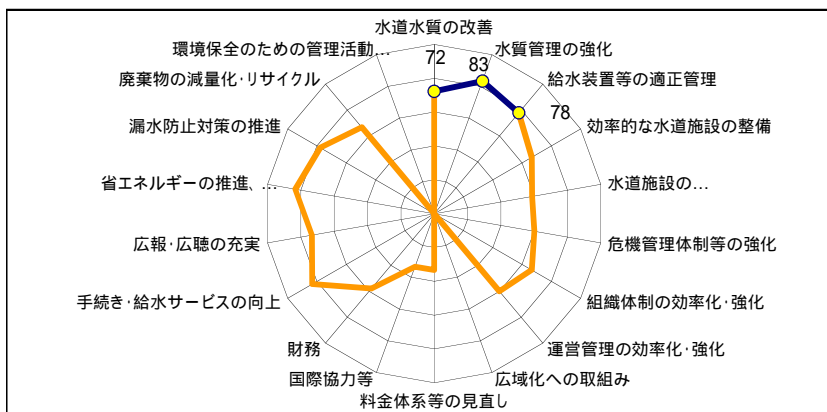
作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 <b>基本目標</b> 施策

基本情報

基本目標	1 安心して飲める水道
概要	お客様に安心して水道水を飲んでいただくには、水源から蛇口までの水質が良好であることが必要であり、水質の確保のための事業を充実させていきます。 良質な水源の確保に努め、配水過程での水質の監視を充実させ、末端の貯水槽水道について、管理の適正化と直結給水を推進するとともに、鉛製給水管の解消を図っていきます。

評価結果

施策	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布					点数合計	評価点
		Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)		
1) 水道水質の改善	6	2	0	3	1	0	13	72
2) 水質管理の強化	4	3	0	0	1	0	10	83
3) 給水装置等の適正管理	3	1	0	2	0	0	7	78
計	13	6	0	5	2	0	30	77



評価結果の分析

施策	内容
1) 水道水質の改善	評価点は高めとなっています。平成23年度以降は河川水を水源とする鯨池浄水場が浄水処理を停止したことにより、指標値は年々改善しています。
2) 水質管理の強化	全体として評価点は引き続き高くなっています。適切な水質検査が行われており、連続した水質監視体制も整っています。そのため、水質管理は十分にできていると言えます。
3) 給水装置等の適正管理	評価点は高くなっています。鉛製給水管の解消に向けた取組みが着実に進んでいます。また、小規模貯水槽水道の現地調査を継続するなど貯水槽水道の適正管理についても取組みを進めています。

今後の課題等

施策	内容
1) 水道水質の改善	越水・鯨池両浄水場の浄水処理停止等に伴い、阪神水道企業団からの高度浄水処理水の受水を増量したため、水道水質が改善しましたが、本市の浄水場においても、引き続き良質な水源を確保し適切な浄水処理を行う必要があります。
2) 水質管理の強化	引き続き水質管理の強化に努め、水質の変化に迅速に対処していく必要があります。
3) 給水装置等の適正管理	貯水槽水道の設置者に対して適正な管理についての指導を継続するとともに、直結給水方式の普及に努めていく必要があります。また、鉛製給水管の解消に向けた取組みをさらに進めていく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(基本目標2)】

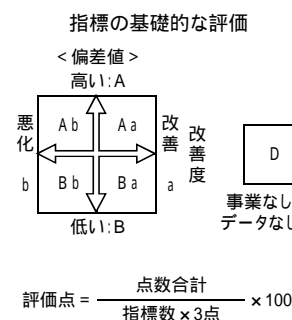
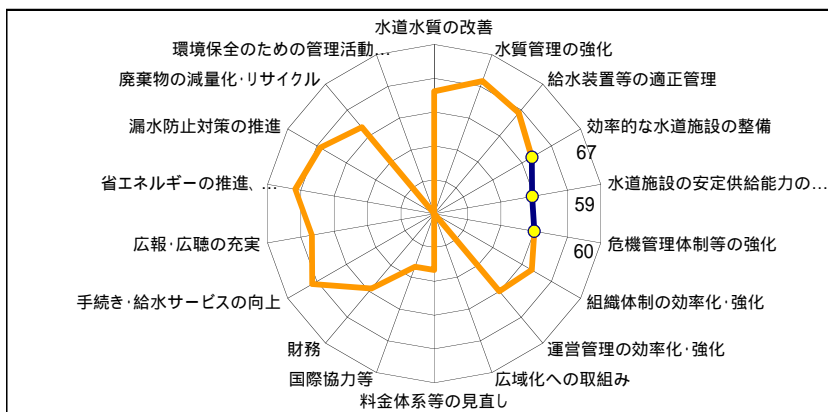
作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 <b>基本目標</b> 施策

基本情報

基本目標	2 安定して供給できる水道
概要	まもなく更新時期を迎えることになる施設について、水需要の減少に合わせた規模の縮小を図り、より質の高い水の供給に努めます。また、更新に合わせて耐震化を図り、水を安定して供給できるよう努めていきます。

評価結果

施策	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布					点数合計	評価点
		Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)		
1) 効率的な水道施設の整備	6	2	0	2	2	0	12	67
2) 水道施設の安定供給能力の向上	17	5	1	3	7	1	30	59
3) 危機管理体制等の強化	5	1	1	1	2	0	9	60
計	28	8	2	6	11	1	51	61



評価結果の分析

施策	内容
1) 効率的な水道施設の整備	評価点は平均を少し上回っています。越水・鯨池浄水場等の浄水処理停止に伴い、水道施設の効率性が高まり、省エネルギー・省電力も進んでいます。なお、災害時等に対応するために配水池等に貯留可能な水量は、類似事業体等と比較して少なくなっています。
2) 水道施設の安定供給能力の向上	評価点は低めとなっています。水道施設のうち、管路については更新に伴う耐震化が比較的進んでいますが、その他の施設では耐震化率は総じて低くなっています。
3) 危機管理体制等の強化	評価点は低めとなっています。「2214可搬ポリタンク・ポリバック保有度」で指標値が悪化していますが、給水拠点や給水車の整備は高い水準にあり、災害時等における応急給水体制は整備されています。

今後の課題等

施策	内容
1) 効率的な水道施設の整備	渇水や災害に備えて、ある程度の水源水量や施設能力を確保しつつ、送配水施設の再編成によりさらに効率的な施設整備を行っていく必要があります。
2) 水道施設の安定供給能力の向上	耐震化を含めた更新には多くの費用を要するため、重要度・優先度が高いものから計画的に実施していく必要があります。また、災害時等に備えて、自家発電設備の整備などバックアップ機能の強化を図る必要があります。
3) 危機管理体制等の強化	整備された応急給水体制を、実際に災害等が発生した場合に円滑に運用できるようにしていく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(基本目標3)】

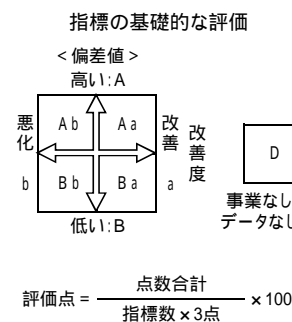
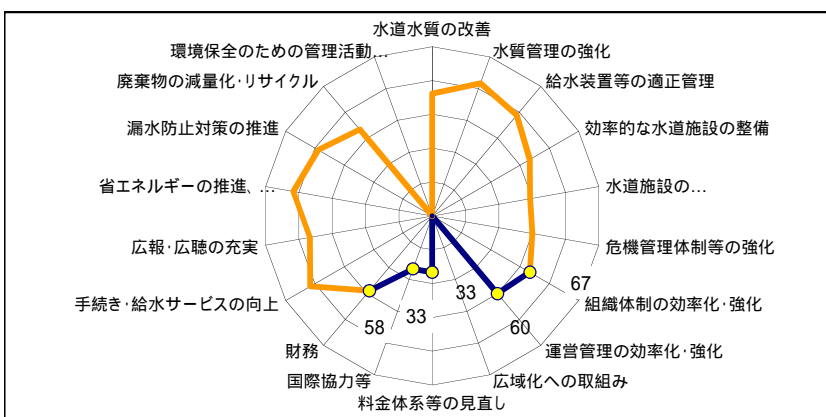
作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 <b>基本目標</b> 施策

基本情報

基本目標	3 健全な経営を持続する水道
概要	今後、給水収益の増加が望めない中、施設の更新時期を迎えることとなります。また、事業を支えてきた経験豊かな職員が大量に退職する時期を迎えることとなります。 このような状況に対応するため、人材の育成・活用、組織の見直し、運営管理の見直しなどにより対処していきます。

評価結果

施策	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布					点数合計	評価点
		Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)		
1) 組織体制の効率化・強化	10	2	1	5	2	0	20	67
2) 運営管理の効率化・強化	5	0	3	1	1	0	9	60
3) 広域化への取組み	0							
4) 料金体系等の見直し	1	0	0	0	1	0	1	33
5) 国際協力等	2	0	0	0	2	0	2	33
6) 財務	15	3	3	2	7	0	26	58
計	33	5	7	8	13	0	58	59



評価結果の分析

施策	内容
1) 組織体制の効率化・強化	評価点は平均を少し上回っています。職員数の削減に伴い、職員一人当たりの生産性・効率性は改善してきています。また、技術職員の割合は改善傾向にありますが特に低くなっており、水道業務の経験年数が長い職員も減少傾向にあります。
2) 運営管理の効率化・強化	評価点は低めとなっています。業務の委託等により、経費の削減や経営の効率化を進めています。外郭団体の見直しにより、水道メーター検針業務は一部を除き水道局直営で実施していることから、「5008 検針委託率」で指標値が非常に低くなっています。
3) 広域化への取組み	評価指標はありませんが、阪神水道企業団及び構成4市により、水質検査業務の共同化についての研究を進めています。
4) 料金体系等の見直し	評価指標は「3013 料金回収率」のみで、100%を下回る状況が続いています。阪神水道企業団からの受水増量に伴う受水費の増加等により給水原価が上昇したために指標値が悪化し、評価点は非常に低くなっています。
5) 国際協力等	国際的な技術協力等の取組みがないため、評価点は低くなっていますが、友好都市である紹興市からの研修生を受け入れ、水道事業についての研修を行っています。
6) 財務	評価点は低くなっています。阪神水道企業団からの受水増量に伴う受水費の増加や給水収益の減少等により、収益性を表す指標値が低くなっており、悪化傾向を示していますが、企業債に関連した指標は良好な状態にあります。

今後の課題等

施策	内容
1) 組織体制の効率化・強化	今後、職員の世代交代が進んでいく中で、事業運営に必要な技術の継承が重要となってきます。そのため、職員の技術力の向上等を目的とした研修機会の充実等を図る必要があります。また、業務の見直しや外部委託等により、効率的な組織を構築していく必要もあります。
2) 運営管理の効率化・強化	給水収益の増加が望めない中、引き続き経費削減などの経営改善や未利用資産の活用等に取り組み、効率的な事業運営に努める必要があります。
3) 広域化への取組み	水質検査の共同化の取組みとして、まず一部の検査項目について共同検査を実施していますが、さらに対象業務の拡大や共同化実施内容の発展について、研究・検討を進める必要があります。
4) 料金体系等の見直し	経営努力によって費用の削減を図り、給水原価を下げる取組みを続ける必要があります。また、今後、料金体系のあり方についても検討します。
5) 国際協力等	今後、どのような国際貢献への取組みができるのかということが検討課題です。
6) 財務	給水収益の増加が望めない中、経営努力によって費用の削減を図り、収益性を高める必要があります。また、引き続き、必要な水道施設の更新とのバランスを取りながら、財務の安全性を確保していく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(基本目標4)】

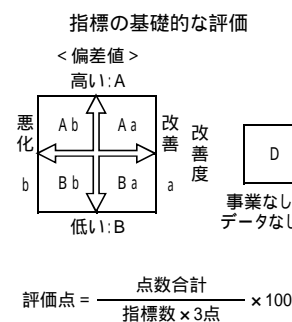
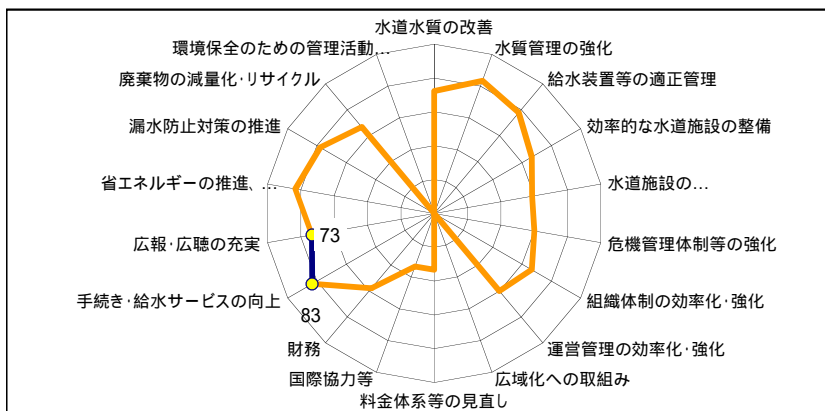
作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 <b>基本目標</b> 施策

基本情報

基本目標	4 お客様から親しまれる水道
概要	水道事業に対する理解を深めていただくと同時にご意見をいただくため、積極的に情報を公開し、透明性の高い事業運営を推進していきます。また、サービスの拡充に努めていきます。

評価結果

施策	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布					点数合計	評価点
		Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)		
1) 手続き・給水サービスの向上	4	3	0	0	1	0	10	83
2) 広報・広聴の充実	5	2	0	2	1	0	11	73
計	9	5	0	2	2	0	21	78



評価結果の分析

施策	内容
1) 手続き・給水サービスの向上	評価点は高くなっています。お客様サービスは平均以上の水準にあると考えられます。
2) 広報・広聴の充実	評価点は高めとなっています。ホームページや広報誌、水道モニター制度等の多様な媒体を活用した広報・広聴活動ができていると考えられます。

今後の課題等

施策	内容
1) 手続き・給水サービスの向上	多様化・高度化するニーズや社会環境の変化を的確に捉え、引き続き、お客様サービスの向上に努めていく必要があります。
2) 広報・広聴の充実	水道事業への理解や透明性を確保するとともに、お客様ニーズを事業に反映させていくため、効率的・効果的な広報・広聴活動を展開していく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(基本目標5)】

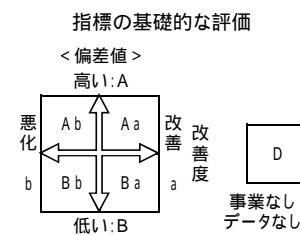
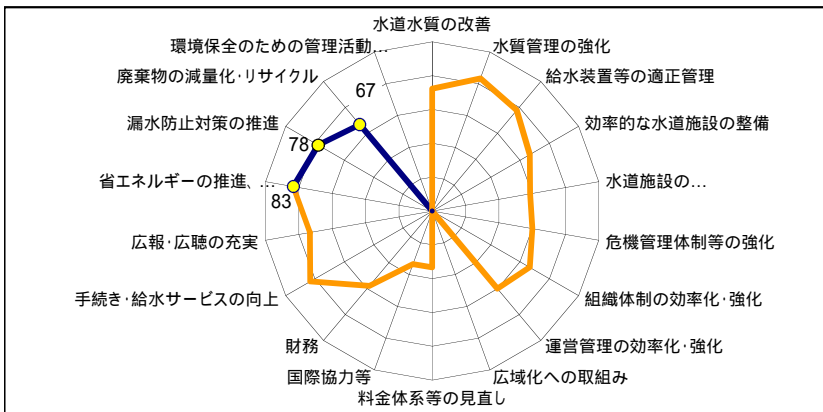
作成日	平成26年(2014年)3月1日
対象年度	平成24年度
評価対象	基本理念 <b>基本目標</b> 施策

基本情報

基本目標	5 環境にやさしい水道
概要	水道事業は多くのエネルギーや資源を利用しています。地球環境への影響を少しでも軽減できるよう、省エネルギー・省資源に努め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

評価結果

施策	評価指標数	指標の基礎的な評価の分布						評価点
		Aa(3点)	Ab(2点)	Ba(2点)	Bb(1点)	D(0点)	点数合計	
1) 省エネルギーの推進、自然エネルギーの有効活用等	4	3	0	0	1	0	10	83
2) 漏水防止対策の推進	3	2	0	0	1	0	7	78
3) 廃棄物の減量化・リサイクル	2	1	0	0	1	0	4	67
4) 環境保全のための管理活動の充実	0							
計	9	6	0	0	3	0	21	78



$$\text{評価点} = \frac{\text{点数合計}}{\text{指標数} \times 3\text{点}} \times 100$$

評価結果の分析

施策	内容
1) 省エネルギーの推進、自然エネルギーの有効活用等	「4003 再生可能エネルギー利用率」以外の指標の評価が「Aa」となっており、評価点は高くなっています。電力やエネルギー全般を効率よく使用できており、環境に配慮した水道事業を推進できていると言えます。
2) 漏水防止対策の推進	漏水量の減少により、漏水防止に係る指標値が改善したため、評価点は高くなっています。引き続き計画的な漏水調査・修繕や老朽管の布設替え工事を進めていく必要があります。
3) 廃棄物の減量化・リサイクル	建設副産物のリサイクル率は高い水準を維持していますが、浄水発生土の有効利用率が0%であるため、全体として評価点は平均を少し上回る程度となっています。
4) 環境保全のための管理活動の充実	評価指標はありませんが、環境会計を継続的に作成し、環境保全への取組み状況を公表しています。また、環境マネジメントシステムに基づき、市長部局と連携して環境施策を推進しています。

今後の課題等

施策	内容
1) 省エネルギーの推進、自然エネルギーの有効活用等	水道施設の統廃合や再編成により省エネルギーを図り、太陽光発電設備の導入を進めるなど、さらなる環境負荷の低減に努める必要があります。
2) 漏水防止対策の推進	引き続き、計画的な漏水防止対策を推進していく必要があります。
3) 廃棄物の減量化・リサイクル	浄水発生土については、リサイクルを行う予定がありませんので、引き続き、加圧脱水処理による減量化を図っていきます。建設副産物については、排出量の削減に努めるとともに、高いリサイクル率を維持できるよう徹底することが重要です。
4) 環境保全のための管理活動の充実	市の環境マネジメントシステムに基づく環境施策を推進していく中で、環境会計の活用方法について検討していく必要があります。

【西宮市水道事業評価シート(達成率)】

基本目標	施策	番号	業務指標	優位性	業務指標値					計画値		達成率 (%)	
					H19 <基準>	H21	H22	H23	H24	NWR21 (H30)	その他		
1 安心して飲める水道	1-1) 水道水質の改善	1104	水質基準不適合率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	1-2) 水質管理の強化	1104	水質基準不適合率 (%) (再掲)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	1-3) 給水装置等の適正管理	1117	鉛製給水管率 (%)		48.8	46.3	43.6	39.9	38.0	21.8	10.0	68.9	
2 安定して供給できる水道	2-1) 効率的な水道施設の整備	2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人)		60	60	60	52	52	54		94.6	
		2004	配水池貯留能力 (日)		0.35	0.36	0.36	0.32	0.32	0.32		98.8	
		4001	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量 (kWh/m <sup>3</sup> )		0.25	0.26	0.24	0.18	0.18	0.19		100.0	
		4002	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー (MJ/m <sup>3</sup> )		0.97	0.98	0.92	0.69	0.67	0.68		100.0	
		2004	配水池貯留能力 (日) (再掲)		0.35	0.36	0.36	0.32	0.32	0.32		98.8	
	2-2) 水道施設の安定供給能力の向上	2101	経年化浄水施設率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	
		2102	経年化設備率 (%)		50.0	52.1	37.5	37.5	36.1	50.0		100.0	
		2104	管路の更新率 (%)		0.51	0.62	1.11	0.72	1.35	0.96		100.0	
		2107	管路の新設率 (%)		0.10	0.23	0.18	0.14	0.02	0.09		17.3	
		2207	浄水施設耐震率 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.4		0.0	
		2208	ポンプ所耐震施設率 (%)		6.5	6.5	6.5	11.9	11.2	67.7		16.6	
		2209	配水池耐震施設率 (%)		15.9	15.9	15.9	18.1	18.3	40.1		45.7	
		2210	管路の耐震化率 (%)		13.4	14.8	16.0	16.8	18.1	24.8	24.8		73.2
		2216	自家発電設備容量率(浄水場平均) (%)		64.8	46.9	46.9	46.9	47.6	57.8		82.3	
		5001	給水圧不適合率 (%)		-	-	-	-	-	0.0		-	
	5102	グクタイトル鋼鉄管・鋼管率 (%)		59.7	60.8	61.9	62.6	63.9	68.8		92.8		
	2-3) 危機管理体制等の強化	2205	給水拠点密度 (箇所/100km <sup>2</sup> )		34.1	34.0	34.0	34.0	34.0	38.1		89.3	
		2213	給水車保有度 (台/1,000人)		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		84.4	
		2214	可搬ポリタンク・ポリバック保有度 (個/1,000人)		29.2	28.2	26.9	16.3	16.3	27.1		60.2	
		2215	車載用の給水タンク保有度 (m <sup>3</sup> /1,000人)		0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03		84.4	
		2217	警報付施設率 (%)		49.7	50.3	52.0	52.4	51.8	45.7		100.0	
	3 健全な経営を継続する水道	3-1) 組織体制の効率化・強化	3109	職員一人当たり配水量 (m <sup>3</sup> /人)		261,455	272,324	276,394	279,763	287,628	302,683		95.0
3-4) 料金体系等の見直し		3013	料金回収率 (%)		97.6	96.0	94.1	92.1	91.0	94.0		96.8	
3-6) 財務		3013	料金回収率 (%) (再掲)		97.6	96.0	94.1	92.1	91.0	94.0		96.8	
		3014	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )		169.7	167.9	167.6	166.7	166.2	169.8		97.9	
		3015	給水原価 (円/m <sup>3</sup> )		173.7	175.0	178.1	181.0	182.6	180.6		0.0	
5 環境にやさしい水道	5-1) 省エネルギーの推進、自然エネルギーの有効活用等	4001	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量 (kWh/m <sup>3</sup> ) (再掲)		0.25	0.26	0.24	0.18	0.18	0.19		100.0	
		4002	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー (MJ/m <sup>3</sup> ) (再掲)		0.97	0.98	0.92	0.69	0.67	0.68		100.0	
		4003	再生可能エネルギー利用率 (%)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.72		0.0	
		4006	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量 (g-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )		89	95	74	59	82	67		33.2	
	5-2) 漏水防止対策の推進	5107	漏水率 (%)		1.8	2.0	1.7	2.2	1.5	1.9		100.0	
		5108	給水件数当たり漏水量 (m <sup>3</sup> /年/件)		5.0	5.2	4.4	5.7	3.9	4.8		100.0	

優位性:指標値の望ましい方向性を矢印の向きで示しています。指標値が高い方が望ましい指標は「↑」、低い方が望ましい指標は「↓」で表しています。

指標値が高い方が望ましい指標:達成率(%)=(実績値-基準値)÷(計画値-基準値)×100

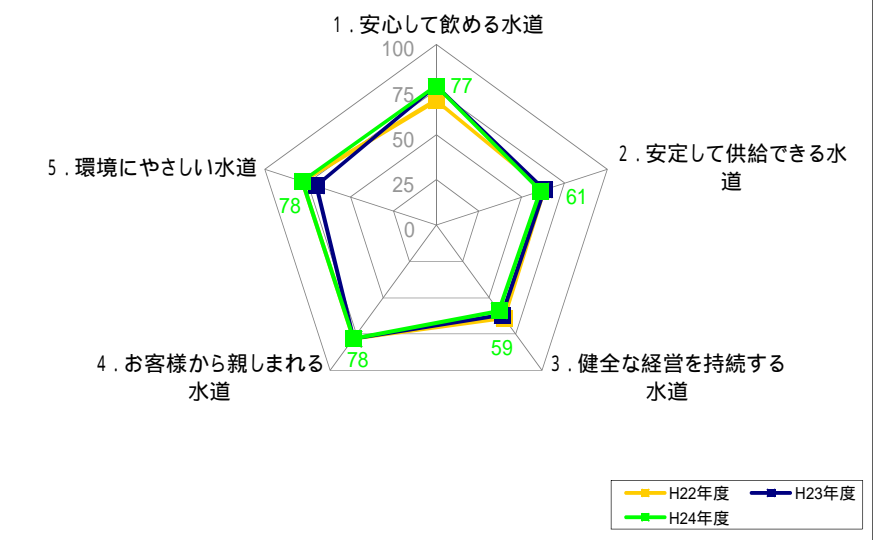
指標値が低い方が望ましい指標:達成率(%)=(基準値-実績値)÷(基準値-計画値)×100

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

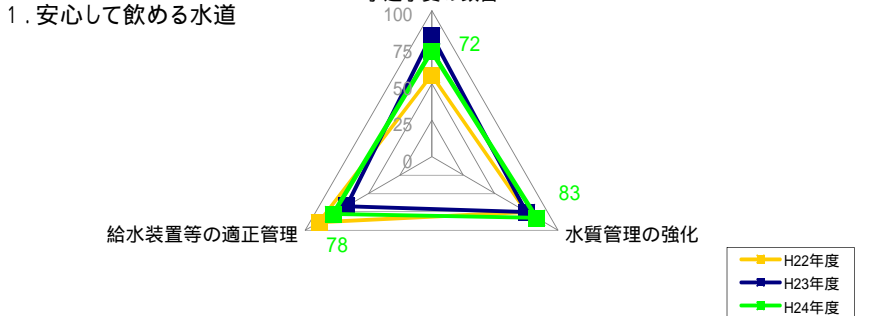
【西宮市水道事業評価シート(H22～24年度)】

基本目標	施策	業務指標	H22年度			H23年度			H24年度							
			基礎的な評価 (偏差値・改善度)		達成率	基礎的な評価 (偏差値・改善度)		達成率	基礎的な評価 (偏差値・改善度)		達成率					
			分類	評価点		分類	評価点		分類	評価点						
1 安心して飲める水道	1-1) 水道水質の改善	1104 水質基準不適合率(%)	Aa	56	100.0	Aa	83	100.0	Aa	72	100.0					
		1105 カビ臭から見たおいしい水達成率(%)	Ba		Aa	Ba										
		1106 塩素臭から見たおいしい水達成率(%)	Bb		Bb	Bb										
		1107 総トリハロメタン濃度水質基準比(%)	Bb		Aa	Ba										
		1114 消毒副生成物濃度水質基準比(%)	Bb		Ba	Ba										
		1116 活性炭投入率(%)	Ab		Aa	Aa										
	1-2) 水質管理の強化	1101 原水水質監視度(項目)	Bb	75	69	77	75	77	83	77	83					
		1102 水質検査箇所密度(箇所/100km2)	Ba									Ba	Aa			
		1103 連続自動水質監視度(台/(1,000m3/日))	Aa									Aa	Aa			
		1104 水質基準不適合率(%)	Aa									100.0	Aa	100.0	Aa	100.0
		1115 直結給水率(%)	Aa									Aa	Aa			
1-3) 給水装置等の適正管理	1117 鉛製給水管率(%)	Ba	89	62.7	67	66.8	78	78	68.9	68.9						
	5115 貯水槽水道指導率(%)	Aa									Bb	Ba				
2 安定して供給できる水道	2-1) 効率的な水道施設の整備	1001 水源利用率(%)	対象外	78	100.0	対象外	78	96.1	対象外	67	94.6					
		1002 水源余裕率(%)	対象外									対象外	対象外			
		2001 給水人口一人当たり貯留飲料水量(L/人)	Bb									100.0	Bb	96.1	Bb	94.6
		2003 浄水予備力確保率(%)	対象外									対象外	対象外			
		2004 配水池貯留能力(日)	Bb									100.0	Bb	99.9	Bb	98.8
		3019 施設利用率(%)	Aa										Aa		Ba	
		3020 施設最大稼働率(%)	Aa										Aa		Ba	
		4001 配水量1m3当たり電力消費量(kWh/m3)	Aa									18.1	Aa	100.0	Aa	100.0
		4002 配水量1m3当たり消費エネルギー(MJ/m3)	Aa									14.7	Aa	95.3	Aa	100.0
		2-2) 水道施設の安定供給能力の向上	2004 配水池貯留能力(日)									Bb	57	63	59	63
	2101 経年化浄水施設率(%)		Aa	100.0	Aa	100.0	Aa	100.0								
	2102 経年化設備率(%)		Aa	100.0	Aa	100.0	Aa	100.0								
	2103 経年化管路率(%)		Ab		Ab		Ab									
	2104 管路の更新率(%)		Aa	100.0	Ba	75.5	Aa	100.0								
	2107 管路の新設率(%)		Bb	100.0	Bb	100.0	Bb	17.3								
	2202 幹線管路の事故割合(件/100km)		Aa		Aa		Bb									
	2207 浄水施設耐震率(%)		Bb	0.0	Bb	0.0	Bb	0.0								
	2208 ポンプ所耐震施設率(%)		Bb	9.6	Ba	17.6	Ba	16.6								
	2209 配水池耐震施設率(%)		Ba	39.6	Ba	45.0	Ba	45.7								
	2210 管路の耐震化率(%)		Aa	70.0	Aa	73.3	Aa	79.4								
	2216 自家発電設備容量率(浄水場平均)(%)		Bb	81.2	Bb	81.2	Bb	82.3								
	2-3) 危機管理体制等の強化		5001 給水圧不適合率(%)	D	67	60	-	D	-	60	-	-				
		5102 ダクタイル鋳鉄管・鋼管率(%)	Ba	89.9									Ba	90.9	Ba	92.8
		5103 管路の事故割合(件/100km)	Bb										Bb		Bb	
		5104 鉄製管路の事故割合(件/100km)	Bb										Ab		Aa	
		5105 非鉄製管路の事故割合(件/100km)	Bb										Bb		Bb	
		2205 給水拠点密度(箇所/100km2)	Aa	89.3									Aa	89.3	Aa	89.3
		2213 給水車保有度(台/1,000人)	Ba	100.0									Ba	100.0	Ab	84.4
		2214 可搬ポリタンク・ポリバック保有度(個/1,000人)	Bb	99.3									Bb	60.1	Bb	60.2
		2215 車載用の給水タンク保有度(m3/1,000人)	Bb	100.0									Bb	100.0	Bb	84.4
		2217 警報付施設率(%)	Aa	100.0									Ba	100.0	Ba	100.0

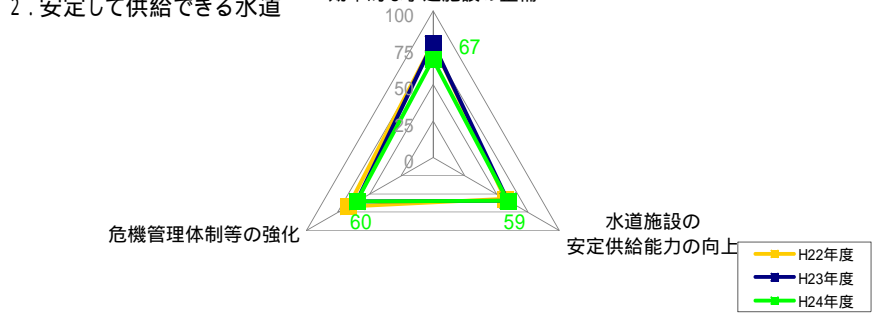
【基本目標単位】



【施策単位】



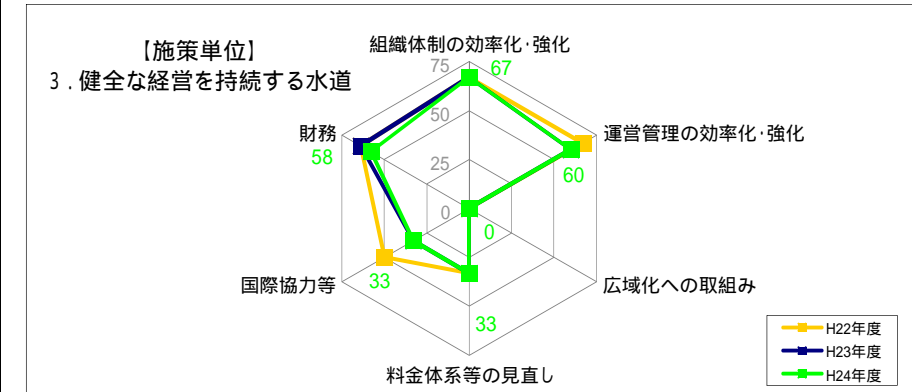
【施策単位】





【西宮市水道事業評価シート(H22～24年度)】

基本目標	施策	業務指標	H22年度		H23年度		H24年度		達成率					
			基礎的な評価 (偏差値・改善度)		達成率	基礎的な評価 (偏差値・改善度)		達成率		基礎的な評価 (偏差値・改善度)				
			分類	評価点		分類	評価点			分類	評価点			
3 健全な経営を持続する水道	3-1) 組織体制の効率化・強化	3007 職員一人当たり給水収益(千円/人)	Ba	67	91.3	Ba	67	92.4	Ba	67	95.0			
		3101 職員資格取得度(件/人)	Ab			Bb			Bb					
		3102 民間資格取得度(件/人)	Ba			Aa			Aa					
		3103 外部研修時間(時間)	Aa			Aa			Aa					
		3104 内部研修時間(時間)	Bb			Bb			Bb					
		3105 技術職員率(%)	Ba			Ba			Ba					
		3106 水道業務経験年数度(年/人)	Ab			Ab			Ab					
		3109 職員一人当たり配水量(m3/人)	Ba			Ba			Ba					
		3110 職員一人当たりメータ数(個/人)	Ba			Ba			Ba					
		3210 職員一人当たり受付件数(件/人)	Ba			Ba			Ba					
		3-2) 運営管理の効率化・強化	3024 固定比率(%)			Aa			67			対象外	Aa	60
	3026 固定資産回転率(回)		Ab	Ab	Ab									
	3027 固定資産使用効率(m3/10,000円)		Aa	Ab	Ab									
	5006 料金未納率(%)		Bb	Bb	Ba									
	5008 検針委託率(%)		Bb	Bb	Bb									
	5009 浄水場第三者委託率(%)	対象外	対象外	対象外										
	3-3) 広域化への取組み													
	3-4) 料金体系等の見直し	3013 料金回収率(%)	Bb	33	100.0	Bb	33	62	97.9	Bb	33	59	96.8	
	3-5) 国際協力等	6001 国際技術等協力度(人・週)	Ab	50	100.0	Bb	33	62	97.9	Bb	33	59	96.8	
		6101 国際交流数(件)	Bb			Bb				Bb				
	3-6) 財務	3001 営業収支比率(%)	Bb	64	100.0	Bb	64	98.1	Bb	58	97.9	97.9		
		3002 経常収支比率(%)	Bb			Bb			Bb					
		3003 総収支比率(%)	Bb			Bb			Bb					
		3005 繰入金比率(収益的収支分)(%)	Bb			Bb			Bb					
		3006 繰入金比率(資本的収入分)(%)	Aa			Aa			Aa					
		3008 給水収益に対する職員給与費の割合(%)	Ba			Ba			Ba					
		3009 給水収益に対する企業債利息の割合(%)	Aa			Aa			Aa					
		3010 給水収益に対する減価償却費の割合(%)	Ab			Ab			Ab					
		3011 給水収益に対する企業債償還金の割合(%)	Aa			Aa			Aa					
		3012 給水収益に対する企業債残高の割合(%)	Aa			Aa			Ab					
3013 料金回収率(%)		Bb	100.0			Bb			97.9				Bb	96.8
3014 供給単価(円/m3)		Bb	98.7			Ab			98.1				Bb	97.9
3015 給水原価(円/m3)		Ba	100.0			Bb			0.0				Bb	0.0
3022 流動比率(%)	Ba		Ba		Ba									
3023 自己資本構成比率(%)	Aa		Aa		Bb									



【西宮市水道事業評価シート(H22～24年度)】

基本目標	施策	業務指標		H22年度		H23年度		H24年度		達成率		
				基礎的な評価 (偏差値・改善度)		基礎的な評価 (偏差値・改善度)		基礎的な評価 (偏差値・改善度)				
				分類	評価点	分類	評価点	分類	評価点			
4 お客様から親しまれる水道	4-1) 手続き・給水サービスの向上	3205	水道サービスに対する苦情割合(件/1,000件)	Aa	83	Aa	83	Aa	83	78		
		3206	水質に対する苦情割合(件/1,000件)	Bb		Bb		Bb				
		3207	水道料金に対する苦情割合(件/1,000件)	Aa		Aa		Aa				
		5106	給水管の事故割合(件/1,000件)	Aa		Aa		Aa				
	4-2) 広報・広聴の充実	3112	直接飲用率(%)	Aa	73	Aa	73	Aa	73			
		3201	水道事業に係る情報の提供度(部/件)	Ba		Ba		Ba				
		3202	モニタ割合(人/1,000人)	Aa		Aa		Aa				
		3203	アンケート情報収集割合(人/1,000人)	Ba		Ba		Ba				
	3204	水道施設見学者割合(人/1,000人)	Bb	Bb	Bb							
5 環境にやさしい水道	5-1) 省エネルギーの推進、自然エネルギーの有効活用等	4001	配水量1m3当たり電力消費量(kWh/m3)	Aa	83	Aa	83	100.0	Aa	83	100.0	
		4002	配水量1m3当たり消費エネルギー(MJ/m3)	Aa		14.7		Aa	95.3		Aa	100.0
		4003	再生可能エネルギー利用率(%)	Bb		0.0		Bb	0.0		Bb	0.0
		4006	配水量1m3当たり二酸化炭素(CO2)排出量(g-CO2/m3)	Aa		75.7		Aa	100.0		Aa	33.2
	5-2) 漏水防止対策の推進	5107	漏水率(%)	Aa	89	Aa	56	100.0	Aa	78	100.0	
		5108	給水件数当たり漏水量(m3/年/件)	Aa		100.0		Ab	0.0		Aa	100.0
		5111	管路点検率(%)	Ba		Bb		Bb				
	5-3) 廃棄物の減量化・リサイクル	4004	浄水発生土の有効利用率(%)	Bb	50	Bb	67	Bb	67	Bb	67	
		4005	建設副産物のリサイクル率(%)	Ab		Aa		Aa				
	5-4) 環境保全のための管理活動の充実											

